

# 天理大学逍遙歌

山本三千夫作詞  
尾西 勝作曲

行進曲風に

うんせんりあけほのの  
かなたよしののやまざくら  
げにはるよはる  
らんまんと  
わかきののちのはなひらく  
たれかせいのたいようぞ

## 天理大学逍遙歌

一、紅雲千里曙の

かなた吉野の山桜

げに春よ春爛漫と

若き命の花開く

誰か世紀の太陽ぞ

四、銀河の流れ遙かにて

地場神苑の灯は咽ぶ

栄古空しく山河あり

げにソロモンの栄耀も

夏野のカンナ春の霜

二、興亡転た千年の

歴史を照らす古都の月

神秘の夜半のただ中に

名も布留里の丘過ぎて

遊子無限の慨あり

五、真紅の旗を押し立てて

進む飛躍の道ぞこれ

ああ螢雪の幾星霜

理想の星を鏤めし

栄光の門いつか見ん

三、人生意気に感じては

青春血あり涙あり

行くも帰るも友と友

朝吟誦の花の陰

夕雄叫びの雲に入る

六、不死の白鳥ならずんば

永生なしと人の云う

人よ大地の母恋いて

ああ天涯の雲に呼ぶ

春永劫の神楽歌